



【発信日】 令和4年10月 4日

【問い合わせ先】

大野市役所（1階 9番窓口）

地域経済部 産業政策課 時岡・五十川

電話 0779-64-4816 内線 1407

齊藤一郎さん（越前おおのブランド大使）がコンサートを開催

～アポロ室内管弦楽団と心温まる音楽を披露～

「越前おおのブランド大使」でセントラル愛知交響楽団首席客演指揮者の齊藤一郎さん（大野市中保出身・東京都在住）が、東京、大阪、京都のプロオーケストラ首席奏者など総勢30名と共に送るプレミアムなコンサートを大野市で開催します。

大野市出身のチェリスト・松谷壮一郎さんによる渾身のハイドン「チェロ協奏曲第1番」と、同じく大野市出身の作曲家・木下正道さんによるピアノとオーケストラのための新作初演は必聴です。

コロナ禍で音楽に触れる機会が減っている中、市民をはじめ多くの人に心温まる音楽を届けたいという想いを込め、齊藤さんご自身が企画したコンサートです。

つきましては、事前周知及び当日の取材にご協力をお願いします。

記

1 主催

SK art&music

※大野市が後援しています。

2 日時

11月28日（月）午後6時45分から開演（午後5時45分から開場）

3 場所

大野市文化会館 大ホール

4 コンサートの内容（予定）

【演目】 ハイドン：チェロ協奏曲第1番ハ長調 Hob. VIIb : 1、木下正道：新作、
佐原詩音：箏とピアノ・弦楽オーケストラのための「コナコナ蝶々」、モ
ーツァルト：交響曲 29 番イ長調 K. 201

【主要キャスト】指揮者／齊藤一郎、チェロ／松谷壮一郎、ピアノ／大宅さおり、箏／藤重
奈那子、演奏／アポロ室内管弦楽団

5 当日の連絡先

SK art&music（亀谷） TEL0779-69-9505 携帯：090-1631-1866

齊藤一郎と アポロ室内管弦楽団

プレミアム・クラシックコンサート Vol.2



ハイドン：チェロ協奏曲第1番 ハ長調 Hob. VIIb:1
Franz Joseph Haydn : Cello Concerto No. 1 in C Major, Hob.VIIb:1

木下正道：新作
Masamichi Kinoshita : Commissioned Work

佐原詩音：箏とピアノ、弦楽オーケストラのための「コナコナ蝶々」
Shion Sahara : Butterfly Scales

モーツァルト：交響曲第29番 イ長調 K. 201
Wolfgang Amadeus Mozart : Symphony No. 29 in A Major, K. 201

11月28日(月) 2022年 大野市文化会館 大ホール

18:45開演 (17:45 開場) 【チケット料金】全指定席 5,000 円

【お問合せ】 SK art&music TEL : 0779-69-9505 Email : sk.art.and.music@gmail.com

【チケットお取扱い】 SK art&music、ショッピングモール VIO、芦原楽器

【主催】 SK art & music 【後援】 大野市

ARTS2
ARTS for the future

齊藤一郎 と アポロ室内管弦楽団

齊藤一郎が送る夢のプレミアム・クラシックコンサート 待望の第2弾。東京、大阪、京都のプロオーケストラ首席奏者がここ大野市に結集する。大野市出身のチェリスト・松谷壮一郎による渾身のハイドン「チェロ協奏曲第1番」と、同じく大野市出身の作曲家・木下正道によるピアノとオーケストラのための新作初演は必聴。そして、ベルギーブリュッセルを拠点に、帰国後も国内外で活躍するピアニスト・大宅さおりと、皇国内統華楽堂にて即興演奏を始めた華奏者・藤重奈那子が、作曲家・佐原詩音による華とピアノ、弦楽オーケストラのための「コナコナ蝶々」を掲げる。



齊藤 一郎 (指揮者)

福井県大野市出身。東京学芸大学、及び東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。指揮を伊藤肇一、逢藤泰吉、若城宏之、若杉史、高浅明治、佐藤新、パブレ・デシュバイ、レオポルド・ハーガー、エルビン・アウツェルの各氏に師事。在学中に安宅賞受賞。1998年より文化庁新進芸術家海外研修員としてウィーンで前座を務む。帰国後の2000年6月～2004年3月 NHK交響楽団アシスタントコンダクターを務め、この間、サザリッシュ、プロムシュテット、スヴェトラノフ各氏らの薫陶を受ける。1997年大阪センチュリー交響楽団(現・日本センチュリー交響楽団)を指揮してデビュー。2002年には N響を指揮、2003年関西フィルハーモニー交響楽団で定期公演に初登場。これまでに、読売日本交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、九州交響楽団、仙台フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、神奈川フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラなど国内主要オーケストラに客演を重ねている。海外においても、セグト舞(ハンガリー)、モラヴィア・フィル(チェコ)、オラディア・フィル(ルーマニア)に客演した他、スロヴァキア・フィル定期公演(2005年)、現地でラジオ放送されたバルドゥビツェ室内管弦楽団(チェコ)定期公演(2007年)などに出演。2009年4月～2014年3月セントラル愛知交響楽団常任指揮者。2014年4月より同団首席客演指揮者。2014年4月～2019年9月京都フィルハーモニー室内交響楽団音楽監督。レパートリーは、古典作品はもとより、芥川也寸志、島崎藤村、伊藤福三郎、松村池二など日本の現代音楽を切り拓いてきた巨匠たちの作品、野平一郎、山本和賀ら同世代の作曲家たちの作品、海外の現代作品、映画音楽やポップスまで幅広い。特に邦人作品への積極的な取り組みは高い評価を得ており、2014年には第9回名古屋音楽祭クラシック賞を受賞。内藤一郎がプログラミングならびに指揮をした2016年4月の京都フィルハーモニー室内交響楽団第203回定期演奏会が第15回伏見市音楽祭奨励賞を受賞した。



松谷 壮一郎 (チェロ)

大野市出身。スズキメソッドにて3歳よりチェロを始める。第73回全日本学生音楽コンクールチェロ部門高校の部名古屋大会第1位、全国大会第3位、第75回全日本学生音楽コンクールチェロ部門大学の部東京大会第2位、全国大会第2位並びに横浜市民賞。第71回福井県音楽コンクール奨励賞、第6回さかい九郎音楽コンクール取手市長賞。第31回日本クラシック音楽コンクール最優秀賞、福井県文化振興事業団主催、若い芽コンサート2018に出演。福井ジュニア音楽アンサンブル(福井県文化振興事業団主催)を受賞。上山音楽祭参加。2022年度青山音楽財団奨励賞。サントリー室内楽アカデミー第7期フェロー。池田沙和子、松原千代志、島田雅治、中本健二の各氏に師事。福井県立大野高等学校を経て現在東京藝術大学音楽学部器楽科3年在学中。



大宅 さおり (ピアノ)

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。ブリュッセル王立音楽院(Koninklijk Conservatorium Brussel) 終上課程を首席で修了。ピアノ、室内楽、現代音楽においてグランドディスタインクシオン賞を受賞。ベルギー政府給付留学生。その後同音楽院ピアノ科プロフェッサーアシスタントとして後進の指導にあたる。兄の大宅裕と OYA PIANO DUO として、Ensemble champ d'Action、Ensemble Musiques Nouvelles、Prometheus Ensemble(解散)、Royal Flanders Opera等で10年四大陸を拠点にヨーロッパで活躍。現在はソリスト、室内楽奏者として日本各地での音楽祭やコンサート、学校訪問アウトリーチなどで積極的な演奏活動を展開し、海外の音楽祭にも定期的に招聘されている。これまでにソロ CD「SAORI OYA PLAYS BRAHMS」、「BEETHOVEN PIANO SONATAS」(サウンドアリアレコード)をリリース。平成27年度福井県文化奨励賞受賞。オフィシャルサイト <www.saoriya.net/>



藤重 奈那子 (華)

大阪府出身。10歳より琴、12歳より越後三絃を深澤さとみに師事。東京藝術大学音楽学部器楽科生田清由香専攻卒業。今年に同大学院音楽研究科修士課程を修了。大学卒業時には皇居内統華楽堂にて御前演奏を務め、終了演奏会では学内有志オーケストラと(空遊楽楽団)を共演。現在、様々な企画運営を積極的に取り組み、東京と大阪を中心に演奏活動や指導を行う。全国小中学生華曲コンクール【小学生の部】銀賞、8邦楽コンクール【現代部門一般】特別優秀賞(第1位)、宮城道雄記念コンクール【一般の部】第3位など他多数受賞。宮城道雄会、同声会、森の会、深田華楽会各会員。一般社団法人地域創造公共ホール音楽活性化事業登録演奏家、和楽楽団「風雅」、和楽部オーケストラ「あいおい」メンバー。



木下 正道 (作曲)

1969年福井県大野市生まれ。吹奏楽とハードロックの経験の後、東京学芸大学で音楽を学ぶ。2001年度武蔵野音楽賞海外佳作、平成14年度文化庁舞台芸術創作奨励賞。2003年現音楽新人賞入賞。現在は様々な団体や個人からの委嘱や共同企画による作曲、優れた演奏家の協力のもとでの演奏会の企画、通常とは異なる方法で使用する電子楽器による即興演奏、の三つの柱で活動を展開する。また多くの先鋭的な若手作曲家、演奏家たちによる企画に招聘されている。



佐原 詩音 (作曲)

1981年大阪府生まれ。石川県金沢市育ち。関西学院大学卒業後、東京藝術大学音楽学部作曲科に再進学。コンサートプラン・クセジュ代表。2018年から作曲領域を毎年開業。5年は物語性のある作品に取り組みしており、作品は調性の有無に拘らず、色彩豊かで力強いものが多い。現代音楽や即興を取り入れたピアノ・ソルフェージュ教室、作曲理論など後進の指導や楽譜制作、楽曲分析などの執筆も行っている。日本芸術専門学校・ピアノ専攻講師、理教系奨励賞。

アポロ室内管弦楽団

指揮者 齊藤一郎が過去に共演した大阪フィルハーモニー交響楽団と京都市交響楽団の首席奏者を中心に結成した管弦楽団。レパートリーはクラシック音楽の作品はもとより、近現代の作品まで幅広い。